

女性協ニュース

↓ 取り組み報告やチラシ・ニュース募集！
FAX: 03-3875-6270 e-mail: n-ask@irouren.or.jp

日本医労連第 43 回女性代表者会議開催

～サンパ(しゃべれば、食べれば、学び・行動すれば)で憲法がやく社会を～

11月1日～2日、中華街の入り口の横浜ローズホテルで第43回女性代表者会議が開催されました。5全国組合39都道府県74名が参加し、生き生きとした女性部活動が語られ交流を深め、2013年方針を確認しました。



開会にあたって駒形女性議長があいさつ、その後主催者を代表し山田真巳子日本医労連中央執行委員長が「消費税増税、原発の問題、社会保障の問題、TPPなど国民の怒りと運動が広がっている。流れを変えるチャンスがきている。政策転換をめざそう」と挨拶をしました。

ハラスメント学習

記念講演はカウンセラー高山直子さんを講師に『個人として組織として、ハラスメント問題とどう取り組むか』と題してお話いただきました。

高山氏はハラスメントについて「個人の感覚や判断のギャップで生じるもので、他人にはわかりにくい」という事を前提に、加害者(ハラッサー)と被害者の心理のポイントなど学びました。そして加害者にならないためのポイント、リスクを下げる方法、被害者対応のポイント。



被害者は「自分が悪いから」と責める傾向がある、なぜ自分を責めるのか?相談を受けるポイントなどはっきり、わかりやすく具体的な話をされました。途中、2グループに分かれ医療の看護師長と中堅ナースの連休取得のロールプレイングでのやり取りでは、迫真の演技で会場が沸きました。



特別報告は①岩手医労連女性部の女性権利アンケートの取り組み②全日赤パワハラについての取り組み③大分の女性集会の取り組み④仲間増やしの医労連共済についての報告を受けました。

基調報告は煙崎女性協事務局長が2012年度活動報告と2013年度方針(案)が提案されました。

今年度の取り組みとして、引き続きや母性保護や女性の諸権利を、「3Cで、知って・知らせて・職場を変えよう」。そして、この秋の全国一斉「いのちを守る地域チャラバン」の取り組みと夜勤改善増員署名の取り組み、生理休暇取得推進やマタハラ・パワハラなどのハラスメントのない職場をめざし、全労連の提起している憲法キャラバンへの参加と、輝け憲法署名の取り組みの強化など～3バ(しゃべれば・食べれば・学び行動すれば)で女性協活動を広げよう～提案しました。

盛り上がった夜の交流会

女性交流集会の目玉の一つが夜の交流会。各県ブロックから豪華景品をかけたじゃんけん大会やオスプレイ体操、替え歌など出し物が披露され、中華街に笑い声が響き渡りました。



東北北陸ブロック



全国組合

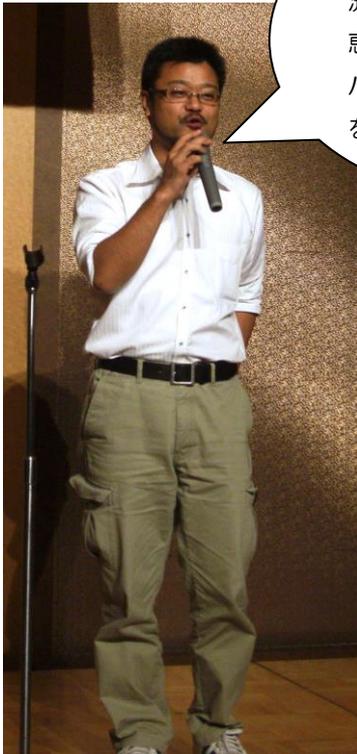


中国ブロック

北海道医労連の油石です。共済説明どうでしたか？
恵和会労組のパワハラ・セクハラ・マタハラ裁判支援署名をよろしくお願いします。



東北ブロック



関西ブロック

2日目交流会

2日目各県交流では15組織から発言がありました。全労災から諸権利取得者状況を病院員側から報告させる取り組み、石川では県の雇用均等室との要請・定期懇談をしているという報告。また、いま社会問題になっている「マタハラ」について報告がありました。その後、今年度方針と新役員を拍手で承認し、山田真巳子執行委員長の団結ガンバロウで集会を閉じました。